



学校だより

1月号 (第186号)
令和5年1月10日発行
横浜市立並木中央小学校



強くしなやかに

校長 齋藤 由美子

明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。17日間の長い冬休みでしたが、学校が始まると正月気分もすぐに抜けていきます。

日本には玄関の正月飾りは8日に外し、鏡餅は、11日に開く(鏡開き)風習があります。子どもの頃は、固くなった鏡餅を割って網に乗せて焼き、母が作ったお汁粉の中に入れて美味しく食べた記憶があります。「鏡開き」自体を知らない子どもたちが多いと思いますが、何事も一つ一つ丁寧に終わらせ、次へ進めていく日本の古き良き伝統行事の一つです。

さて、学校に戻って来た子どもたちは、今年も自らの目標に向かって、一步一步進んで行ってほしいと思います。学校では、まとめの時期に差し掛かり、多くの活動が展開されますが、引き続き、自分の考えを自分の言葉でしっかり伝える力の育成を大切にしていきます。そして、子どもたちの人間関係に目を向ければ、関わり合う中で互いに意見の相違があることは想定内です。トラブルがあった時にこそ、成長のチャンスがあります。人との折り合いのつけ方も、こういう時に学んでいくのだと思います。自分の行動を振り返って考える力、少々へこんでも立ち直る強さも必要。思い通りにならないこともあるでしょうが、決して折れず、竹のように強く、そしてしなやかにと願っています。同時に私たち大人は、彼らが善悪の判断をしながら、自分も友だちも大切にできる人へと成長していくよう冷静に見守っていきたいものです。

新年も目標をもち、教職員・子どもたちと中央小の学びを大切にしていきます。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。